

香川県連女性交流会

2016年度活動報告

発足して4年目を迎えました。

「女性が安全に登山を続ける為に」をスローガンに県内の女性会員に呼びかけ、登山を通して情報交換や技術の習得向上を行いながら交流を深めてきました。

交流登山の基本方針は下記の通り。

1. 年一回一泊山行と日帰り山行を交互に行います。
2. 各会が同じスタートラインに立つ。
 - (1) CL、SLを持ち廻りで担当します。
 - (2) 登山中に読図、ロープワークを必ず行い、現地でテント設営・応急処置なども各会がローテーションで担当します。
 - (3) 開催場所の関係者の講演。

昨年の第四回は、9月3日～4日に剣山一の森で行い、県内(4団体)14名、徳島・愛媛・高知から5名計19名の参加がありました。又、初めて全国女性担当者会議に2名が参加し、全国の女性リーダーと交流を持ちました。(★会議の内容は下に一部記載)

発足当時より、女性会員の横の繋がりを深め、裾野を広げる点では達成の方向に進んでいます。

登山中の(2)に関しては、各会の担当者の事前学習にも工夫がなされ、充実してきています。

2017年活動方針

1. 登山の技術と体力をつけて、いつまでも安全で楽しい登山生活が出来るような役立つ企画を女性たちが力を合わせて開催していきます。その中で、香川の女性の横のつながりを深めていきます。
2. 香川県勤労者山岳連盟の9団体すべてに参加を呼びかけます。
3. 第5回香川県連女性交流登山を10月22日(日)七宝山(縦走)で行います。
4. 第7回西日本女性担当者交流集会に参加します。

★基調報告 藤元理津子(全国連盟女性委員長)

一昔前は先輩から山の怖さを教わり、甘えが通じない凛とした登山の洗礼を受けてきた。現在の登山界では、登山を取り巻く社会の働き方、生き方の変化が登山の多様化を促し、登山団体の包括的役割である、楽しく安全に登るための登山技術や意識の伝承に遅れを取ったといつては言いすぎでしょうか？しかしそれでも、会のあり方、運営、体制作り等柔軟に果敢に取り組んで、生き生きと活動する労山の会・クラブの活躍がある。

2017年は女性委員会を創設して40周年を迎える。ひたむきに豊かな登山を、事故や遭難を無くすための活動を、とすすめてきたこの年月を踏まえて、自らを駆り立ててきた登山への思い、女性であることの率直な意見、希望を語り合い未来につながる闊達な討論を祈念する。

この後、討論質疑応答、各県の現状報告、問題点を出しあった。

- ・これからの女性委員会のあり方、果たす役割について討論(長い時間を要した)
- ・女性委員会が必要な？の問題に 事務局長の川島さんは「全国連盟の役員が今は25名中5名。これが半数近く女性になれば、女性委員会は必要ないと思う。」と発言された。
- ・「山筋ゴーゴー体操」の普及。各県で取り組みをしていこう。
- ・原発被災地福島の子供たち参加の「8/2～8/4 静岡県の自然を楽しもう！！」計画報告
- ・2017年の「女性委員会創設40周年記念集会」の開催地と記念講演は誰がいいか？若い人が参加しやすい日時場所の設定。
- ・「女性委員会ってなあに？」のパンフレット作成について 載せてほしい内容写真の募集。 等等・・・。